

正しい知識で 災害に備える

石巻西高防災体験学習



平成27年度防災体験学習では、東北大学災害科学国際研究所の佐藤翔輔助教が「防災・減災をまなぶポイント災害科学の超入門」をテーマに、全校生徒に対して講演しました。このほか、学年ごとに講師を招いて、いのちと向き合う防災学習を繰り広げました。濃煙体験などもあり、生徒たちは有事の心構えを学びました(11月11日、石巻西高校)

あおい地区に新たな 災害公営住宅



市で移転世帯数が最大の防災集団移転地、あおい(東矢本駅北)地区で第2期災害公営住宅の鍵の引き渡し式が行われました。建物は共同住宅で5階建ての北棟(37戸)と南棟(40戸)。鍵を受け取った皆さんは新たな生活を描いていました。フロアごとに1LDKから3LDKまでそろい、建物内には手すりが設けられるなど皆さんの要望を取り入れた暮らしやすい工夫が施されています。28年度内には団地内で183戸の災害公営住宅が完成する予定です(11月25日、あおい地区)



まちのエネルギー の未来を助言

市制施行10周年を記念した「第4回地方創生フォーラム〜プラチナ構想スクール@東松島〜」では、東京大学総長室顧問兼国立研究開発法人科学技術振興機構低炭素社会戦略センター副センター長の山田興一氏が「地球環境と日本のエネルギー・電源構成」と題して講演しました。山田氏はエネルギーの地産地消や地域新電力など、東松島市の今後のエネルギー政策をはじめ、目指すべき低炭素社会、経済構造などをアドバイスしました(11月25日、市コミュニティセンター)

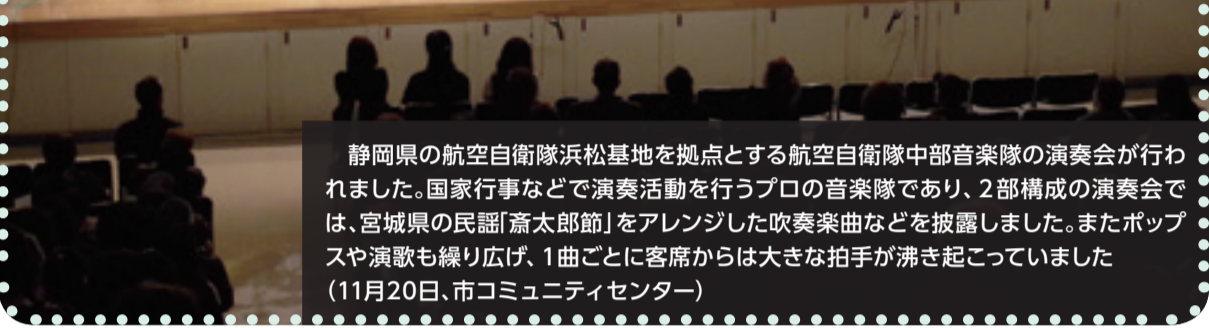
「精神障がい者の家族の現状」



東松島市精神保健福祉会(佐藤節子会長)の講演会では、県精神障がい者家族連合会の笠神勝男会長が「精神障がい者の家族の現状」と題して講演しました。笠神会長は「精神障がい者に対する偏見や差別の目を払拭するためには、地域が一体となって取り組むことが重要。個人の手だけでは限界があり、他を巻き込んでいくことが大切」と語りました(11月26日、市コミュニティセンター)

地域一体で精神障がい者と その家族を支援

心に響くプロの音色



静岡県の航空自衛隊浜松基地を拠点とする航空自衛隊中部音楽隊の演奏会が行われました。国家行事などで演奏活動を行うプロの音楽隊であり、2部構成の演奏会では、宮城県の民謡「斎太郎節」をアレンジした吹奏楽曲などを披露しました。またポップスや演歌も繰り広げ、1曲ごとに客席からは大きな拍手が沸き起こっていました(11月20日、市コミュニティセンター)



温もりの空間で ぼくが 墨画体験

JR東矢本駅前の東松島型地域住宅「つながるYeah(家)」は、住民同士が支え合う暮らしが体感できる2戸一体型のモデルハウスです。関心を高めていただこうと見学会のほか、定期的にワークショップなども開いています。墨画アーティストの一関恵美さんを講師に迎えて「墨画ワークショップ」も行いました。優雅なバラをモチーフとし、参加された皆さんは木の温もりに包まれた空間で楽しい時間を過ごしました(11月23日、つながるYeah(家))



次代の子どもたちのために 役立てて

ホワイト急便や3Qカットなどを運営する(株)アルトが、復興支援の一環として宮城県内の10市町などに計1620万円を寄付しました。このうち東松島市で行われた寄贈式には同社の小野晴夫専務取締役らが訪れ、古山守夫副市長と工藤昌明教育長に教育寄付金として150万円を手渡しました。小野専務取締役は「次代を担う子どもたちのために役立ててください」と思いを込めていました(11月26日、市役所応接室)



いつまでもお元気で

100歳の誕生日を迎えた山田まさ彥さん(行政区:下町四)に祝詞が贈られました。テレビを見るのが大好きな山田さんは、野球やバレーボール、相撲などのスポーツ中継を特に好み、ときには歌番組も楽しめます。長寿の秘けつは好き嫌いなくなんでも食べることで、山田さんは「健康に生活し、110歳を目標にしたい」と話していました(11月20日、自宅)